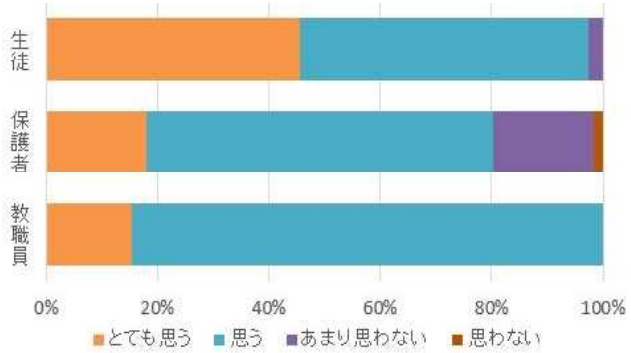
拓心中だより

令和４年９月１日
猿払村立拓心中学校
学校だより【特別号】
発行責任者　校長　藤田　淳

１学期末に保護者の皆様にご協力いただきました『前期学校評価』がまとまりました。以下にお知らせいたします。なお、この評価は同じ設問で生徒も教職員も回答しています。それも合わせてお知らせいたします。ご協力いただきました皆様に改めて感謝申し上げます。

1　先生方は、「わかる授業」をしている。

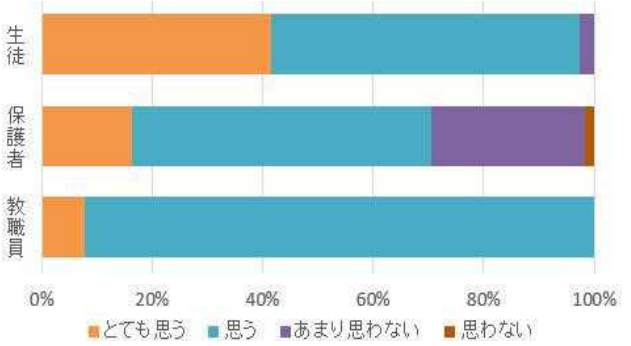
		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生徒	Ｒ３	62.2	37.8	0.0	0.0
	前期	45.5	51.9	2.6	0.0
保護者	Ｒ３	8.9	80.0	8.9	2.2
	前期	18.0	62.3	18.0	1.6
教職員	Ｒ３	8.3	91.7	0.0	0.0
	前期	15.4	84.6	0.0	0.0



Ｒ３年度同様「思う・とても思う」の数値が高くなっています。しかし、生徒・保護者には「思わない」という回答も見られます。今後は、より良いわかる授業、できるようになる授業づくりを目指して研修に取り組み、授業の改善・充実を図ります。また、学習の必要性を生徒に考えさせるとともに、ＩＣＴ機器の活用も充実させていきます。

2　先生方は、「生徒の考える力を高める授業」をしている。

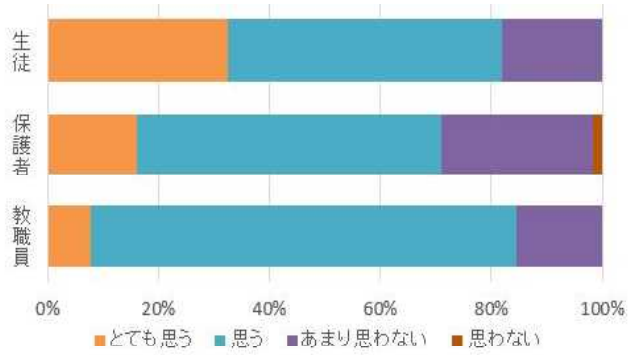
		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生徒	Ｒ３	55.4	41.9	2.7	0.0
	前期	41.6	55.8	2.6	0.0
保護者	Ｒ３	4.4	77.8	17.8	0.0
	前期	16.4	54.1	27.9	1.6
教職員	Ｒ３	8.3	83.3	8.3	0.0
	前期	7.7	92.3	0.0	0.0



「思う・とても思う」の数値が高いですが、保護者の「あまり思わない・思わない」が増加しています。「考える力」は学習だけにとどまらず、生きていく上で何よりも重要な力であり、先行き不透明な時代ではなおさらです。今後も自分で考え、判断し、実行していく力を育成できるよう、授業をはじめ、あらゆる教育活動で工夫していきます。そのカギとなる、思考停止せずにきちんと自分で考えること、考えたことや思うことを相手に伝えられることです。また、相手の言わんとするところをくみ取る姿勢、聞き取る力もそうです。そうした力や心の発達を促していきます。

3　生徒は、授業で将来必要な力を身につけている。
学校は、生徒に必要な資質・能力を育成している。

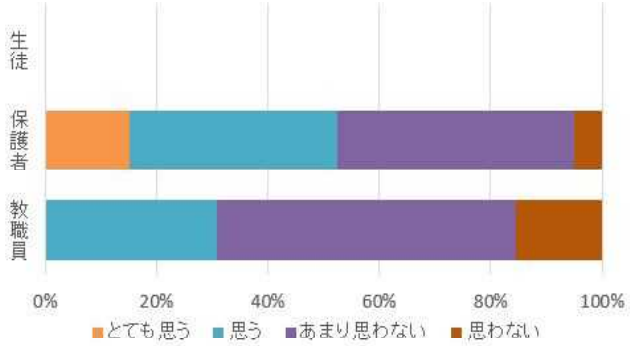
		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生徒	R３	37.8	44.6	16.2	1.4
	前期	32.5	49.4	18.2	0.0
保護者	R３	4.2	70.8	22.9	2.1
	前期	16.1	54.8	27.4	1.6
教職員	R３	8.3	75.0	16.7	0.0
	前期	7.7	76.9	15.4	0.0



Ｒ３に比べて保護者の評価が下がり気味です。生徒に将来必要な「生きる力」を育成することは学校の責務です。各種調査やテストの分析結果からは、学力が伸ばせていない実態が見えています。また、健康・体力等にも課題があります。知力・徳力・体力の確かな育成に向けての取組を充実させていきます。

4　学校の学力向上の取組や成果、改善策はよく分かる。
学校の学力向上の取組や成果、改善策は保護者に理解されている。

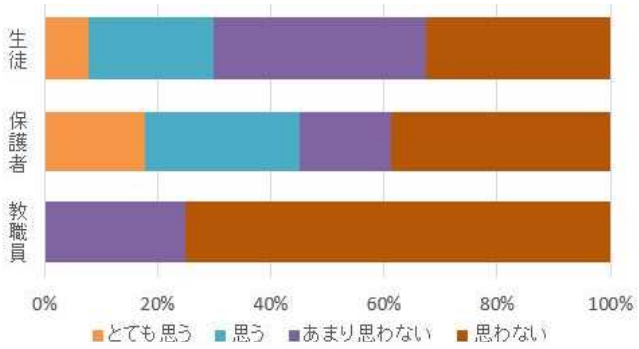
		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生徒	R３				
	前期				
保護者	R３	6.0	56.0	28.0	10.0
	前期	15.3	37.3	42.4	5.1
教職員	R３	0.0	41.7	58.3	0.0
	前期	0.0	30.8	53.8	15.4



Ｒ３より「あまり思わない・思わない」と答えた割合が増えています。今後も学校の取組を各種お便りやＨＰなどを活用し、わかりやすく伝えていけるよう工夫を図ります。なお、現在学校では、あらゆる教育活動において「自律（自分をコントロールする）」を指導の重点にしています。自律する力の向上は学力はもちろん、様々な力を身につけていくための基本となります。

5　生徒は、毎日家庭学習を９０分以上している。

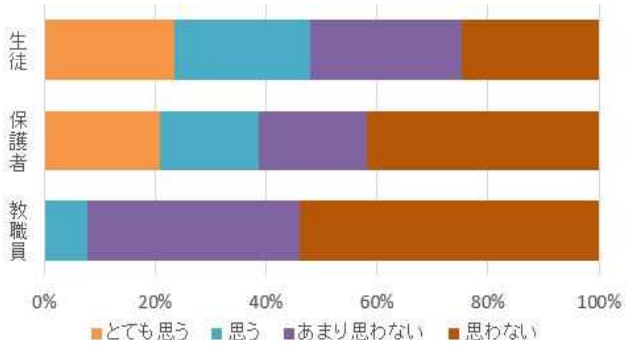
		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生徒	R３	13.9	26.4	29.2	30.6
	前期	7.8	22.1	37.7	32.5
保護者	R３	9.3	14.8	46.3	29.6
	前期	17.7	27.4	16.1	38.7
教職員	R３	0.0	0.0	66.7	33.3
	前期	0.0	0.0	25.0	75.0



Ｒ３同様「思わない・あまり思わない」が多い結果となっています。家庭学習は学力向上や生活習慣の確立には不可欠です。各教科では、授業を大切にすることとあわせて、家庭学習の指導を行い、定期テスト前の取組や教育相談を実施しています。今後も家庭との連携も大切にしながら、家庭学習習慣の定着を目指します。

6　生徒は、スマホやゲームなどを１日９０分以内にしている。

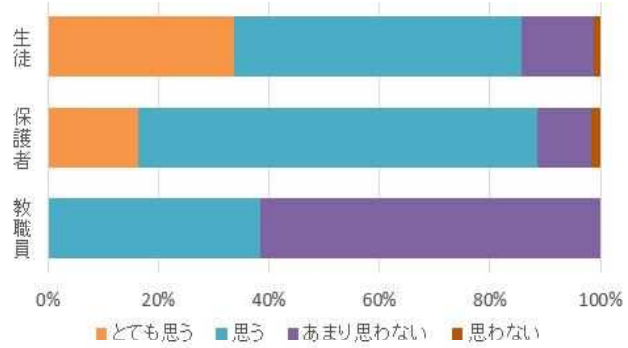
		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生徒	Ｒ３	20.3	24.3	21.6	33.8
	前期	23.4	24.7	27.3	24.7
保護者	Ｒ３	15.4	28.8	32.7	23.1
	前期	21.0	17.7	19.4	41.9
教職員	Ｒ３	8.3	25.0	25.0	41.7
	前期	0.0	7.7	38.5	53.8



Ｒ３同様「思わない・あまり思わない」が多い結果です。家庭学習の少なさや就寝時間の遅さなど、生活リズムの乱れにもつながっており、最重点課題です。日常的な指導とあわせ、生徒の意識改善を図るために「スマホ・ケータイ安全教室」なども実施していますが、家庭と連携・協働した取り組みを今後も進めていきます。メディアの使い方についても大切なのは自律の力です。

7　生徒は、マナーやルールが身についている。

		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生徒	Ｒ３	29.7	58.1	10.8	1.4
	前期	33.8	51.9	13.0	1.3
保護者	Ｒ３	13.7	66.7	15.7	3.9
	前期	16.4	72.1	9.8	1.6
教職員	Ｒ３	0.0	25.0	58.3	16.7
	前期	0.0	38.5	61.5	0.0

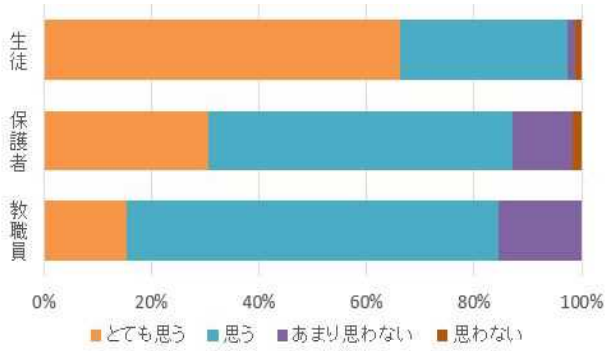


生徒・保護者と教職員の間で大きくずれた結果となっています。生徒に対する期待の高さの表れなのかもしれませんが、学校生活の実態からみ教職員の評価です。ここでも「４」でお伝えした「自分をコントロールする」ことがカギとなります。そのことを踏まえ、「人を不愉快にさせない」ことについて重点的に指導していきます。マナーやルールが守れていない場面を捉えて、その都度考えさせ、どうすべきかを判断する力の向上を図ります。また、生徒会や委員会からの働きかけも同時に進め、自治・自浄の力を高めていきます。

こうしたことは「～しない」という考えになりがちですが、「～していく」という姿勢で、自分たちの生活、人と人との関わり合いをより良くしていくことを体感させていきたいと考えています。あわせて、意見を出し合い、アクションを起こし、自分たちの思いを形にしていく、本来の意味での自治を自分たちの手で創っていくことを考えさせていきます。

8　生徒は、いじめのない生活を送っている。

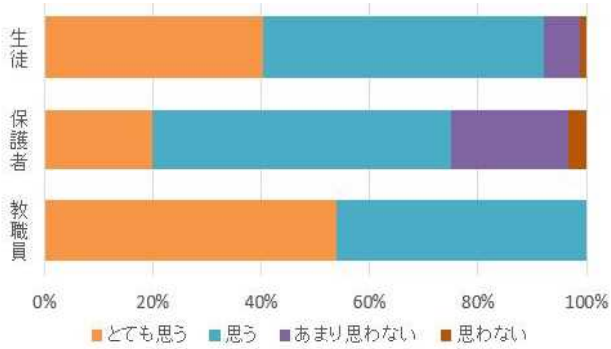
		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生徒	R３	68.9	21.6	8.1	1.4
	前期	66.2	31.2	1.3	1.3
保護者	R３	28.8	59.6	11.5	0.0
	前期	30.6	56.5	11.3	1.6
教職員	R３	8.3	75.0	16.7	0.0
	前期	15.4	69.2	15.4	0.0



Ｒ３同様「とても思う・思う」と答えた割合が多いです。ただし、そうではないという回答もあります。「思わない・あまり思わない」がなくなることをめざし、全教職員による日常的な観察やアンケート調査・面談などにより今後も未然防止に努めます。また、いじめが発見された場合には迅速且つ的確に、組織的に対応していきます。なお、少しでも気になることがございましたら、遠慮せずに学校にお伝え下さい。未然防止及び適切な対応は家庭との連携が必要不可欠です。

9　先生は、ていねいに生徒の相談にのっている。

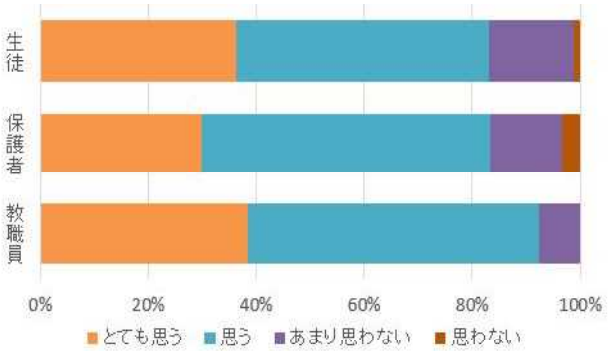
		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生徒	R３	56.8	40.5	2.7	0.0
	前期	40.3	51.9	6.5	1.3
保護者	R３	8.7	78.3	10.9	2.2
	前期	20.0	55.0	21.7	3.3
教職員	R３	41.7	58.3	0.0	0.0
	前期	53.8	46.2	0.0	0.0



Ｒ３同様「とても思う・思う」と答えた割合が多くなっています。しかしながら、そうではないとしている回答が増えています。今後も生徒の思いや悩みをていねいに聞き取り、充実した支援、指導を行っていきます。その積み重ねで、生徒・保護者との信頼関係を築いていきます。

１０　行事を通して、生徒の成長が感じられる。

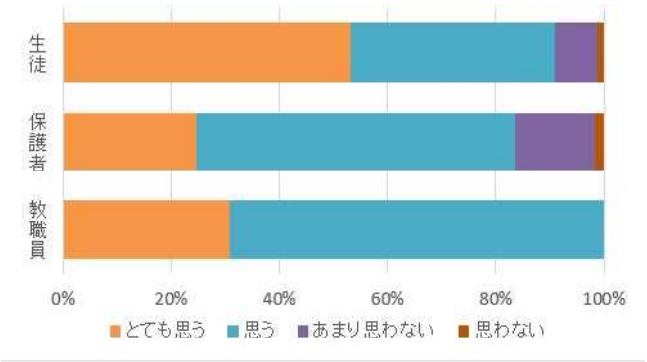
		とても思う	思う	あまり思わない	思わない
生徒	R３	32.4	50.0	14.9	2.7
	前期	36.4	46.8	15.6	1.3
保護者	R３	14.0	67.4	18.6	0.0
	前期	30.0	53.3	13.3	3.3
教職員	R３	25.0	50.0	25.0	0.0
	前期	38.5	53.8	7.7	0.0



「とても思う・思う」と答えた割合が多い傾向です。２学期は、体育祭や修学旅行、学校祭等がありますので、生徒の成長につなげていくように支援していきます。今後も、学校生活の大部分を占める授業を大切にすることを基本としながら、教育活動の見直しを進めます。その中で、行事のもつ教育効果と取り組み内容・方法・時間などについて検討を行っていきます。なお、次年度の修学旅行は５月実施に変更となります。（PTA総会や資料などでお伝えした通りです。）

１１　お便りなどで、学校や学級のこと（生徒の様子や様々な情報）がわかる。

		とても思う	思　う	あまり思わない	思わない
生　徒	Ｒ３	45.9	44.6	5.4	4.1
	前　期	53.2	37.7	7.8	1.3
保護者	Ｒ３	12.2	55.1	22.4	10.2
	前　期	24.6	59.0	14.8	1.6
教職員	Ｒ３	16.7	75.0	8.3	0.0
	前　期	30.8	69.2	0.0	0.0



Ｒ３に比べ保護者の評価が上がっています。学級通信では学級ごとの様子についてご家庭にお伝えしています。今後も各種通信やホームページなどを通して、生徒の様子や学校の状況がお伝えできるように努めていきます。また、お便りなどが確実に保護者のお手元に届くよう、生徒への指導を家庭と連携しながら進めます。ご家庭での確認もお願いいたします。なお、今後もマチコミメールやＨＰを利用して連絡させていただきます。その都度ご確認いただきますようよろしくお願いいたします。

今回のアンケート回答率（保護者）は79.5％でした。昨年度の後期は83.6％でした。お忙しい中、回答にご用力いただきました保護者の皆様には改めてお礼申し上げます。

拓心中学校では、学校評価などの各種アンケートについて、肯定的な回答（とても思う・思う）の平均が８０％を超えることを目標にしています。今回のこの前期学校評価では次のような結果となっています。

生徒平均	保護者平均	教職員平均	全体平均
８０.３	７７.６	７３.８	７８.６

三者の評価の差が大きい設問もありますが、傾向として、教師の評価が厳しい状況があります。これは、自分たちの業務に関してですので、まだまだ改善の余地があるという意識の表れだと思われます。

結果として、生徒平均以外は目標に達しませんでした。それぞれの設問が問うているもの、その結果をしっかりと見直し、今後の学校経営、教職員一人一人の業務改善につなげていきます。

生徒の全人的な発達の保障は、保護者と学校の連携なくしては実現しません。子育ての共同体として、方法は多様でも同じ方向を目指して協働していければと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします。

記述　【生徒編】自分が成長できたと思うこと

《１年生》

▪数学の計算…だと思う。
▪時間を見て行動できたり、仲間と協力して物事に取り組んだりするとこ。
▪たくさん勉強できるようになった。苦手な科目も進んでやるようになった。
▪最初は緊張していたけど、今はクラス全員と仲良く話せるようになった。（男女関係など）
▪話し合いなどで良く考えられるようになった。
▪友達と仲良く話すことが出来た。
▪テストに向けてしっかり勉強できる。自分で自分をコントロールできる。
▪集中することができるようになった。
▪自分で解決する力がついたと思う。
▪少しずつ学校の生活になれていっている。先輩たちとのコミュニケーションがとれた。
▪挑戦するようになったこと。人の事を考えて行動できるようになったこと。
▪学習面。
▪５分前行動、忘れ物減少、体力がついた（部活動で）、復習する習慣がついた。（定期テストで）
▪人とのコミュニケーションのしかた。
▪提出物の期限を守れるようになった。発言する回数が増えた。
▪１年生でたくさん友達ができた。他の学年でも話せる人が増えた。
▪中学校に入って、人数が増えたことで、周りを見て行動できるようになった。
▪他の人にあわせたりせず、自分の個性を出せている。自分で考えて行動する。
▪集中力。
▪考える力が身についた。
▪家で勉強する習慣がついた。
▪勉強が難しいけど自分なりにできた。
▪定期テストに向けて自分から勉強できたこと。計画的に何かを進めることが大切という面。
▪始めのころより授業で手をあげられるようになった。

《２年生》

▪早寝早起きの習慣。
▪あまり口悪くなくなった。
▪色々な人の手助けができるようになった。相手の気持ちを考えながら接することができた。どんな人にも優しくすることができた。
▪自分で考える能力。（授業中）
▪勉強を毎日する。
▪友達となかよくできた。
▪みんなと協力して何かを達成できるようになった。
▪国語力。
▪チャイム席を守れるようになった。
▪テストの点数が上がった。
▪「反抗」をしてはいけないとすこしずつ気づきはじめたこと。」
▪授業態度をよくできた。
▪自分から進んでやること。
▪一つ一つの授業を集中して受けるようになった。
▪ちゃんと勉強できた。
▪積極的に意見を出す。授業中大事だと思うことをメモする。
▪年下への接し方。

《３年生》
▪テスト勉強できた。
▪自分の行きたい高校について考えることが増えた。
▪勉強に対する気持ち（「やだ」→「やった方が良いよね」みたいな）
▪将来必要な知識とか家庭学習とかが身についた。
▪学力。
▪体力を身につけられました。
▪人にやさしくすること。
▪できなくなってしまったものも増えたけど、その分おおらかになった気もする。前より他人に優しくできてるかも。
▪提出物を出すということ。
▪テスト期間勉強たくさんした。
▪友達と気軽に話をすることができた。
▪ほんの少し静かになった。
▪やりたくない事はやりたくないと、言えるようになった。
▪集中力。
▪ほとんど毎日勉強してること。

記述　【保護者編】我が子が成長できたと思うこと

《１年生》
▪家庭学習・ゼミ等を自ら進んでやろうとしている。
▪部活や学校での人間関係等、以前より少しづつではありますが、身に付いてきているように感じます。
▪勉強に向かう姿勢はとても良くなりました。担任の先生の、出来る限り良い成績をつけてあげられるようにという思いがとてもよく伝わります。
▪不足しているのでしょうが、学習時間を増やそうと努力がみられる。
▪学習も部活も計画的に準備し、成果に結びつけることができていた。
▪宿題は前よりちゃんとするようになった。
▪学習の習慣はついた。
▪入学して新しい人間関係を良好に築けている。
▪１日の勉強時間の確保が難しかったため、無駄な時間の使い方をしなくなったこと。

《２年生》
▪家庭学習が少し長くなった。
▪提出物を忘れずに出せるようになった。
▪毎日の学習時間が増えた。
▪個性を出せる、積極性が出てきた。
▪早寝早起きを心がけ、自分で起きて準備をしている。
▪我が子の成長や課題については担任の先生と話すことができています。

《３年生》
▪スマホの時間は”長い”と感じることが多いですが、勉強する時はする、テスト前は控える等自律が上手になってきたと感じ、それは大きな成長を感じます。
▪学力向上。
▪テスト前数日は、ゲームをやめ、机に向かう時間が増えた…気がします…。
▪相手に思っている事を伝えようとする力。
▪生徒会で自分たちの考えを認めてもらっている様でやりがいを感じている。めずらしく勉強している姿があった。

「我が子の成長した点」以外に、２年生の保護者の方から次のご意見をいただきました。これについて、学校としての見解をお知らせします。

① 全体的に、小学校時代に学んできたマナーや物事に対する考え方、人への接し方が崩れていっているように思います。先生方が生徒たちにどのように接しておられるのか気になります。

〈見解〉学校評価の【７　生徒は、マナーやルールが身についている】でお伝えしていますが、学校では「自分をコントロールする」、「人を不愉快にさせない」ということを重点として指導しています。マナーやルールが守れていない場面をとらえ、その都度生徒に振り返らせ、どうすべきかを考えさせ、判断力や実践する力を高めていきます。

② 子どもは「どの先生も脅すんだよね、『成績が下がるから授業態度気をつけるように』って。それを言って何の意味があるんだろう』と言っています。言うことを聞かなければ脅す、という指導をされているのでしょうか。もしそうだとしたら生徒から信頼を得られているのか心配になります。先生方が連携して、子どもたちに愛情を持って接していただくことを望みます。

〈見解〉学習に臨む姿勢は学習評価の項目の一つとなっているのは通知表等でご承知のこと思いますが、授業を大切にすること、迷惑な行為は慎むことはごく基本的なことだと考えています。当然のことながら、授業中における不十分なところは指導をしています。また、生徒が集中して学習に臨める授業づくりに力を入れています。しかしながら、今回のこの記述のように疑念を抱かれている方がおられることを踏まえ、今後もそのようなことがないように指導の工夫改善を図っていきます。なお、心配な点がございましたら、遠慮なく学校にお伝え下さい。

③ テストについて。テストを作成して見直し、検討する機会はないのでしょうか。よく問題に間違いがあるようです。

〈見解〉ミスのない問題作成を意識しておりますが、教師の作成する各種テストでの解答欄や選択肢の間違いなどがあり、訂正を行うことがあります。今後も、作成後のチェックを厳重に行い、訂正の必要のない問題作成に努めます。

④ テストに志望高校を書く欄があるそうですが、その意図を教えていただきたいです。それに基づいての指導をしてくださるのでしょうか。

〈見解〉一部教科の定期テストで、氏名や出席番号とともに志望校を記入する欄を設けている教科があります。これは、進路を意識して、更に学習に力を入れてほしいという願いからです。なお、記入の強制はしておりません。また、進路については学年部会を中心に、教科担当と連携を図りながら進めています。

⑤ 単元テストにおいて先生の指示でカンニングペーパーを作らせたことがあったそうですが、その意図を教えていただきたいです。

〈見解〉一部教科の単元テストで、いわゆる持ち込み試験を実施しています。これは、家庭でのテスト対策学習の状況が思わしくないことから、自分でノートにまとめたことをテストの際に持ち込んで問題を解いてもよいという方法を用いることで、少しでも学習が充足することを期待してのことです。なお、生徒が作成したものは事前に教科担当教諭が確認しています。なお、今回のご指摘の点ですが、生徒に説明する際に、「合法的カンニングペーパー」という表現をしたことから、お子さんが「カンニングペーパーを作ってテストを受けた」と保護者にお伝えしたものと思われます。